発言議員	議案件名・要旨	答弁者
１３番 蜂須直巳議員	1. 岩瀬土地区画整理事業について 形式的に組合立であり、行政がその方向性についてとやかく云える立場ではないのかも知れないが、実態的には組合設立の段階から今日まで人的にも財政的にもかなり多くの援助をしております。まちづくり、土地利用計画の観点からいえば当然でもあります。しかし今日に到っても全体計画 113ｈａの内、反対の声が多い南工区と北工区にはいっさい手が入っておらず、中央工区のみで事業が進められておりますが、中央工区には調整池や公園等、公共用地が多く、このまま事業が進んでも事業資金が捻出出来ない構図があると思われます。 先の予算の概要説明の際にも、このまま事業を進めていくことも難しく、ゼロベースで計画を見直す事を組合と話をした。との事でありますが、 113ｈａ全体で事業認可を受けている。今日まで協力していただいた地権者の方の理解を得るための話し合い、資金捻出の為の現在の推進事業地内の計画の見直し等、急を要する事も多いと思われる。また総合振興計画や、土地利用計画にも影響を及ぼすと考えられるが、いつ頃までを目途に変更計画を具体化するのか・・・。 今迄の羽生市としての投資額は総額どの位になるのか、今のペースで進んだ場合、113ｈａ全体計画の完了はいつ頃になると想定されるのか、中央工区のみの完了目途はどの位と考えているのか。	①都市整備部長
	2. 災害相互協定都市の拡大について 先の中越地震の被災地にあっても、姉妹都市協定や、交流の深い自治体からの支援の輪は、一般的な全国の各自治体や国民からの支援と違い、細かい所に手の届く支援となっていると聞き及んでいる。当市は福島県金山町、埼玉県吹上町と協定を結んでいるが、吹上の場合、地理的に近く同時に被害にあう事も考えられる。正式な協定とまでいかなくとも、協力市あえる自治体を他県（出来れば全国の地方別に分散して結び合うことも必要かと思うが）	②総務部長
	3. 不当要求対策について 暴力団や政治団体などからの不当要求に対し「対策マニュアル」を作成し庁内に徹底すると同時に、実践的研修も必要と考えるが。 栃木県鹿沼市での産廃処理に際しては担当者が殺害される事件もおきている。当市でも昨年、政治団体による妨害行為がありました。今後機関委任事務が増え許認可事務が増えることで益々こうした事案が自治体内に増加する心配もある。熊谷市や幸手市では研修会を開催したとの事である。当市としても早急に対応策を検討すべきと思う。	〃
１４番 落合信夫議員	1. 彩北広域清掃組合への対応について ① 組合からの離脱について ② 分別、リサイクルの一層の推進 ③ 単独での焼却施設の建設へ	①経済環境部長
	2. キヤッセ羽生の管理運営について ① １千万円の増資について ② 管理、運営は「羽生の里」に ③ 手打ちそば、うどんを主体に ④ 水族館、ハイフラワーとの連携を	〃
	3. 岩瀬土地区画整理事業の見直しについて	②都市整備部長
	4. 小中学校の安全対策について ① 学校開放と安全対策をどう結合させるか（地域への開放） ② 警備員の配置など各地の対策が報道されているが当市の対応（用務員の配置）はどうあるべきか	③教育次長
	5. 行財政改革について ① 職員の人件費問題 ② 市役所は最大のサービス産業としての職員のはたしている役割と公的責任について ③ 効率的、採算性で市民サービスや施策を後退させることは許されない ④ 機構改革などの見直しを（縦→横） ⑤ 自主、自立のために市民参加と協働を（職員の創意と工夫を）	④総務部長